

stage

ルールがなければゲームは成り立たない。ただルールにのっとっているだけでは勝負がつかず、やはりゲームは成り立たない。次々とルールが進化していく、スリリングなゲーム感覚。それがモレキュラー演劇の特色だ。去る9月4〜7日、東京の国際交流基金フォーラムで、八戸のモレキュラーシアターによる「TADORI」公演が行われ、大好評だった。テーマは「風景をハグ」。同時開催の「ROCK」公演も行われ、大マダ。つまり、剥がされた風景とは、「TADORI」の語頭「T」を「すなわち」無意識に自動機械」を意味する。このことについてとくるとる人は、東京にもそうはいない。ところが、八戸にはいる。CANOFARTディレクターの一人、花田喜隆である。花田の劇評から、当日の舞台のスリリングな展開を想像してみよう。(モレキュラーシアター)

モレキュラー・シアター「INT

ADORI イタドリ」東京公演

の紙上演が可能であるならば、果たして如何なるものになるのか。しかもそれを非現実的に、パフォーマンスを行うとしたら。まずは、再演を可能にする。3つの規則を急急に導入したい。

■規則1 文字列は、1個以上の任意の文字と0個以上の空白との組み合わせからなる。

■規則2 文字列に対して、一度に1つのオペレータを適用する。

■規則3 適用可能なオペレータは、次の3つである。

■3-1 切断(剥離)、すなわち

空白の導入

■3-2 結合(接合)、すなわち空白の消去

■3-3 反転(ただし、最後尾の部分文字列を)

例えば、規則1に基づき文字列「TADORI」が与えられるとする。

規則3-1の適用により「TADADORI」。規則3-2から「TADADORI」。規則3-3「TADADORI」。規則3-3「TADADORI」。規則3-3「TADADORI」。

ここで後ればせに公理を導入しよう。ただしこれは、超越的与件としての公理ではなく、形式システムの公理系におけるが如く任意に選びうる超越論的与件としてのそれである。

■公理1 文字は板である。改めて、規則1に基づき文字列「TADORI」(=7枚の板)が与

えられるとする。規則3-1「TADORI」。規則3-2「TADADORI」。規則3-3「TADADORI」。

あるいは「文字は板である」で

はどうか。規則3-1「文字は板である」。規則3-2「文字は板である」。規則3-3「文字は板である」。規則3-3「文字は板である」。

あるいは前出の文章(=板塀)はどのような集積体へと変貌を遂げるだろう。「ただしこれは、超越的与件としての公理ではなく、形式システムの公理系におけるが如く任意に選びうる超越論的与件としてのそれである」

あるいは次の放射状(RADIO)集積体の原形や如何。「厚手の板

の羅列が、「縁」や「周囲」という纂編と述叙の場合味暖を、「文」すでに「言語ゲーム」と

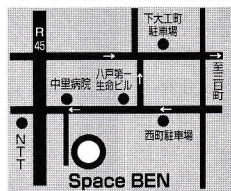
子はならぬ、いか。「学んで」椅まっっている「パレルゴンは、作品でもなく、作品の外に

でもなるあ、「橋」は何と何の間に「体験された周囲」と「体験され椅ない周囲」の間に架けられる子生の有 限性を少つづし前方に押しや っていく

演劇空間スペースベン

「ハグ・剥ぐ・接ぐ」
(ex) foliated with RADIO (behind)

文／花田喜隆(市民アートサポート CANOFARTディレクター)



駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。(近くに西町駐車場有り)

スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
43-9876
FAX 03-5908-9120

※スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

※スペースベンでは、毎週日曜午後7時30分から、沼尾美也子さんに力まますジャズダンスレッスンを開催しています。一度見学にいらして下さい。

11月の Friday Amusement Negative Shop

- 11月7日(第509回) 安達良春プラスワンシアター「ざけろっ!」
- 11月14日(第510回) シバミカラオケBOX化計画
- 11月21日(第511回) 未定
- 11月28日(第512回) KAN・KAN男公開リハ

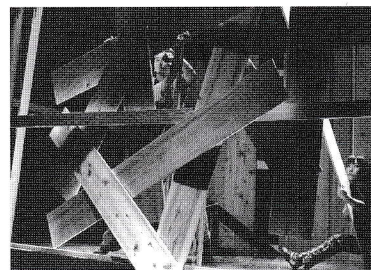
※全て午後7時30分～、料金500円
チケットはスペースベンにて販売

劇団 INTEL VISTA 公演「逃げ水」
23日 開場 18:30 開演 19:00
24日 開場 13:30 開演 14:00
作/演出 渡部 総子
cast/田面木昭憲、吉田美香、織笠静子、長岡 学
TICKET 前売¥1,000 当日¥1,200

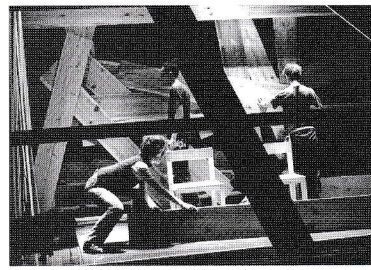
「FANSプロデュース・シアター」
タイトル「KANKAN男」
脚本 田典彦 演出 五十嵐隆
開演/11月29日(土)18時30分、30日(日)15時 ※開演は30分前
会場/スペースベン
出演/嶋名貴行、紫葉実、木根寿恵、中川香、白石麻衣子、田中勉、他
チケット/一般1000円、高校生以下500円

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても書き出せないあなた、一度「物語」を書いてみませんか? FANSでは、そんな方の思いを大切に舞台にのせてみたいと思っております。

スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス owner@spaceben.com



▲「イタドリ」(国際交流基金フォーラム)のステージ
左から山田孝太郎、吾米地真弓



▲03年9月4〜7日「イタドリ」のステージ
左から大久保一恵、山田孝太郎、田島千征

●撮影は3点とも、吉田亨

なオペレータは、次の3つである。

■上演(= on board)

■ロック(= on panel)

■写真(= behind shutter)

なんとすれば、公理1における「板」は文字通り「board」「panel」であり、また目隠しとしての「screen」= shutterであるのだから。

ここに至り、我々はようやくやく

の問いを発することが出来る。「公理2とは? あるいは、空白とは?」

そして、われわれはそのことを「言う」とき、すでに「学んでしまっている」。

倉石信乃「菅木志雄「体境連立」(環空立)《散境》について》「事実のエチカ」菅木志雄「ノート」からの引用あり。